【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【公開番号】特開2001-108522(P2001-108522A)
【公開日】平成13年4月20日(2001.4.20)
【出願番号】特願平11-286902
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｊ　3/10　(2006.01)
Ｇ０１Ｊ　3/18　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　21/64　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　21/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｊ　3/10
Ｇ０１Ｊ　3/18
Ｇ０１Ｎ　21/64　Ｅ
Ｇ０１Ｎ　21/64　Ｆ
Ｇ０２Ｂ　21/06

【手続補正書】
【提出日】平成18年10月6日(2006.10.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　複数波長を有する光を出力する光源と、前記光源から出力された光を分光する分光手段が設けられ揺動する第１ガルバノ式スキャナと、前記分光手段の出力光の少なくとも一部を遮蔽可能な遮蔽部材又は反射可能な反射部材が設けられ揺動する第２ガルバノ式スキャナと、前記分光手段からの出力光が前記遮蔽又は反射部材を介して入射可能な位置に配置された光ファイバとを備えることを特徴とする波長可変光出力装置。
【請求項２】　前記第１及び第２ガルバノ式スキャナの揺動角と、これらの揺動角の組み合わせに対応して前記光ファイバから出力される光の波長及び光量との関係を記憶する記憶手段と、前記光ファイバから出力させるべき光の波長及び光量の情報が入力される入力手段と、前記入力手段に入力された前記情報に応じて前記記憶手段から前記関係を読み出し、前記関係に対応させて前記第１及び第２ガルバノ式スキャナの前記揺動角を制御する制御手段とを備えることを特徴とする請求項１に記載の波長可変光出力装置。
【請求項３】　前記第１ガルバノ式スキャナの揺動角を変化させて前記光ファイバからの出力光波長を変化させつつ、この揺動角に対応して前記遮蔽又は反射部材に入力される光の波長の光量と、前記第２ガルバノ式スキャナの揺動角に対応して前記光ファイバへ入射する光の入射率との積が一定となるように、前記第２ガルバノ式スキャナの揺動角を変化させる制御手段を備えることを特徴とする請求項１に記載の波長可変光出力装置。
【請求項４】　前記第１及び第２ガルバノ式スキャナの揺動軸は互いに異なる方向に延びていることを特徴とする請求項１～３の何れか１項に記載の波長可変光出力装置。
【請求項５】　前記第１及び第２ガルバノ式スキャナを制御する制御手段を備え、前記制御手段は、前記遮蔽又は反射部材による光の通過又は反射に応じて前記光ファイバ内の光量を変化させるように前記第２ガルバノ式スキャナを制御することを特徴とする請求項１又は４に記載の波長可変光出力装置。